

予 算 要 求 資 料

令和4年度9月補正予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：交通対策費

事業名 地域公共交通燃料価格高騰対策支援金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

都市建築部 公共交通課 地域交通係 電話番号：058-272-1111(内2732)

E-mail：c11134@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 105,330 千円 (現計予算額： 119,750 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	119,750	119,750	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	105,330	0	0	0	0	0	0	0	105,330
決定額	102,290	102,290	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・地域公共交通事業者は、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少し、厳しい経営が続いている。
- ・加えて、同事業の運賃は国による上限認可制となっており、昨今の原油高による経費増を容易に価格転嫁することは難しい。
- ・このため、原油高の影響を受けながらも、県民生活や経済活動を支える重要なインフラとして運行を継続している地域公共交通事業者を対象に、燃料費上昇分に相当する額を支援金として交付する。

(2) 事業内容

- ・各地域公共交通事業者の運行継続への支援 (下半期分)
 - ①地方鉄道事業者 30.98円/L (軽油)、6.15円/kwh (電気)
 - ②広域バス路線事業者 175 千円/台
 - ③タクシー事業者 (LPG車を除く) 32 千円/台
- ※令和4年度中に運賃改定がある場合は 25 千円/台 とする。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・ (2) に同じ

(4) 類似事業の有無

- ・ 無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
交付金	105,330	地方鉄道 42,380千円 広域バス路線事業者 43,750千円 タクシー事業者 19,200千円
合計	105,330	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

<国>

- ・ コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」抜粋
令和4年4月26日。原油価格・物価高騰等に関する関係閣僚会議
3. 地方公共団体の実施する対策への支援

●新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（内閣府）
⇒地方公共団体が、コロナ禍において原油価格や電気・ガス料金を含む物価の高騰の影響を受けた生活者や事業者の負担の軽減を、地域の実情に応じ、きめ細やかに実施できるよう、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を拡充し、「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」を創設する。これにより、地方公共団体が実施する、…省略…農林水産業者や運輸・交通分野をはじめとする中小企業者等の支援といった取組をしっかりと後押しする。

(2) 後年度の財政負担

- ・ 無し

事業評価調査書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

新型コロナウイルス感染症や原油高の影響を受けながらも、県民生活や経済活動を支える重要なインフラである地域公共交通事業者を対象に燃料費上昇分に相当する額を交付することで、運行継続への一助とする。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R4)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R4)	達成率
①交付対象者数	0			187	187	100%
②						

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)

3

コロナ禍の中、原油高の影響を受けながらも、県民生活や経済活動を支える重要なインフラとして運行を継続している地域公共交通事業者への支援が必要である。

・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3 : 期待以上の成果あり
2 : 期待どおりの成果あり
1 : 期待どおりの成果が得られていない
0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課

【〇〇課】

組み合わせて実施する理由
や期待する効果 など